

平成19年度地域観光振興事業費補助金交付応募書の記入要領

- * 応募書書式の各項目にしたがって記入してください。
- * 基本的には、枠の大きさの範囲内で、簡潔明瞭に記入して下さい。書ききれない場合は枠を大きくしても構いません。
- * 〔必須〕は、チェック項目の必須事項（その項目を満たしていないと失格となる事項）に対応する部分ですので、必ず書いて下さい。その他の部分については、該当なしの場合、未記入でも構いません。
- * 提出に当たっては、紙とあわせて、電子データでの提出をお願いします。

〔P1〕の記入方法

「氏名又は名称」の右側に法人印を押して下さい。「補助対象事業の名称および内容」には、事業全体の名称を記入します。「補助対象経費」及び「補助金額」についても、事業全体の合計金額を記入してください。

〔P2〕の記入方法

「記入者（担当者）」は、当該事業の具体的な内容を理解し、その推進役となっている実質的な責任者を記入してください。

A 地域の観光地としての潜在能力に関する事項

〔P2〕の記入方法

当該地域の外国人観光旅客の動向や、主要な観光資源・施設について、以下にしたがって記入してください。

a-1. 〔必須〕外国人観光客の現状

当該市区町村（または振興区域）における直近3カ年の外国人観光旅客数を記入してください。具体的には市区町村内の延外国人観光客入込数、当該観光地の主要ホテル・旅館の外国人宿泊数、主な観光施設の外国人入場者数などと、その旅客数の単位（人回、人泊）、延べ数なのか、実数なのかわかるように記入してください。

なお、必ず上記旅客数カウントの区域や施設を明記してください。

「主な属性」については、「発地」「同行者形態」「旅行形態」「季節変動」等それぞれについて、該当するものに○をつけてください。

a-2. 地域の観光の魅力

主に外国人観光旅客の来訪促進に資するような、主要な観光資源（自然資源、歴史文化資源、年中行事やイベントを含む）と、その概要を整理します（5～10件程度）。また、その観光資源の外国人観光客対応状況を簡潔に記入して下さい。

B 事業の実施主体に関する事項（ATA）

※ATA：事業構想について市町村から認定を受けた民間組織（認定構想推進事業者）

〔P3～4〕の記入方法

当該地域観光振興事業を実施するATAの詳細と、本事業への取り組み体制について、以下にしたがって記入してください。

b-1.〔必須〕ATAの概要

ATAの設立時期、会員構成、資本金や基金額等、基本事項について書式にしたがって記入してください。

ATAの法人格については、該当する組織形態に○をするなどして示してください。

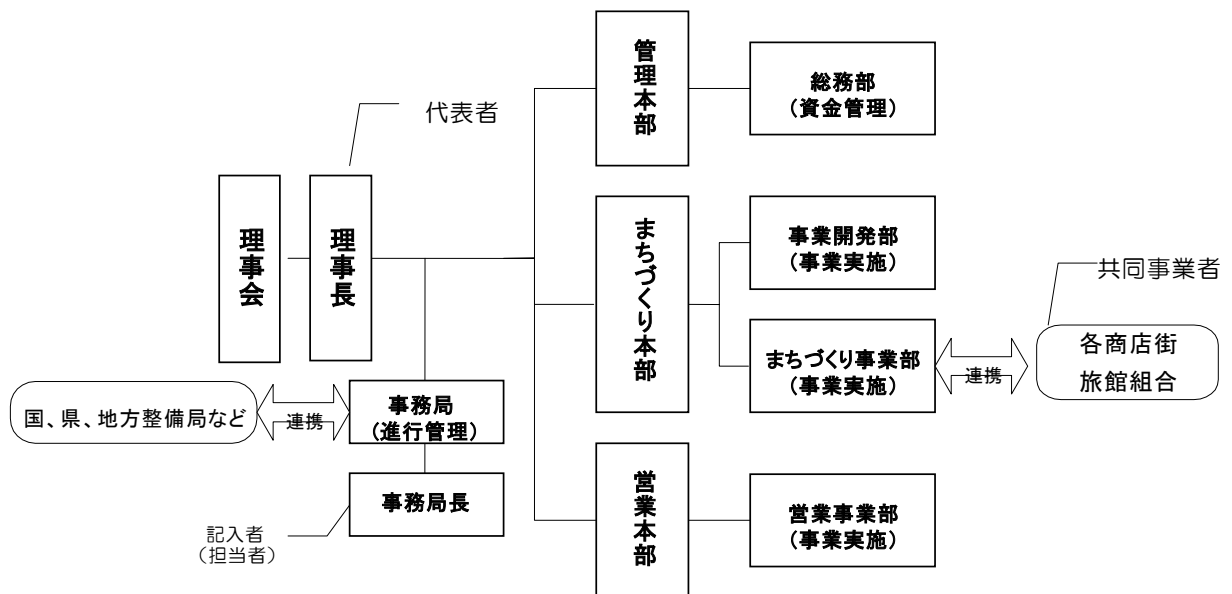
また、組織の設立主旨や経緯、市区町村との関係、支援組織について簡潔に記入してください。

b-2.〔必須〕本事業の実施体制

当該地域観光振興事業の実施体制について、担当部課や担当者数を記入してください。

「組織図」については、当該地域観光振興事業の進行管理、利害関係者や地元住民、関係機関との調整、補助金事務をはじめとする資金管理その他の事務の遂行体制や役割を、ツリーチャート等により示してください。

図 組織図記入のイメージ



b-3.〔必須〕記入者（担当者）のプロフィール

P2の当該地域観光振興事業の「記入者（担当者）」について、略歴、これまでの実績等、書式にしたがって記入してください。「記入者（担当者）」は、当該事業の具体的な内容を理解し、その推進役となっている実質的な責任者です。

b-4.〔必須〕近年の経営状況

当該ATAの事業報告書等に基づき、過去3年間（平成16年度、平成17年度、平成18年度）の年間事業額および事業収支（決算額。ただし、平成18年度分は予算額でも可）を書式にしたがって記入します。

また主要な収入源となっている事業の概要について記入してください。なお過去3年間のうちで事業収支が経常赤字の年がある場合には、その理由を示してください。

当該実施団体が現在保有している資産や、抱えている長期債務等があれば記入してください。

b-5. 本事業に関連する事業実績

これまでに取り組んだ外国人観光旅客等の誘致に関わる観光振興事業や類似業務の内容について記入してください。

なお「観光カリスマ」等の地域観光振興のリーダーや実績者が当該事業に関わりをもつ場合には特記してください。

b-6. 組織外の意見を反映させる仕組み

地域観光振興事業全般の企画立案、実施に当たって、女性や若者、地域と利害関係を持たない地域外の第三者の意見など、多様な意見が反映される仕組みが想定されているようであれば、その方法を具体的に記入してください。

b-7. 観光客のニーズや関連情報を反映させる仕組み

地域観光振興事業全般の企画立案、実施に当たって、「ユーザーの視点」を重視し、観光客のニーズや問題意識を地域観光振興事業に反映させる仕組みが想定されているようであれば、その方法を具体的に記入してください。

b-8. 関係機関との連携方法等、事業実施にあたっての配慮事項

地域観光振興事業全般にわたって、行政や関係機関、他の民間事業者との連携方法、あるいは広域連携の方法について記入してください。その他事業実施に当たっての配慮事項があれば記入してください。

C 事業の内容に関する事項（地域観光振興計画と地域観光振興事業構想・事業計画）

〔P5～9〕の記入方法

c-1～c-7は、都道府県によって策定された「外客来訪促進計画」、市区町村によって策定された「地域観光振興計画」、ATAが策定した「地域観光振興事業構想」・事業計画について記入します。

c-8～c-10は、事業の全体像について記入し、c-11以降は、補助事業の適用を応募する個別事業毎に具体的な事業のねらいや事業内容、事業費、事業推進方法などを記入してください。

c-1. 〔必須〕 関連計画・構想の概要

「外客来訪促進計画」・「地域観光振興計画」・「地域観光振興事業構想」につき、書式にしたがって記入してください。

c-2. 地域観光振興計画（B）の概要

c-1で記入した「地域観光振興計画」の振興地域（地域観光振興計画の区域）を、住所、観光資源や施設の集積により記述し、地図で示してください。また、計画の概要を簡潔に記入して下さい。

c-3. 〔必須〕 地域観光振興計画（B）にて整理されている観光振興上の課題

観光客入込数の動向、滞在時間やリピーター、観光消費額などの現状と問題点の分析等に基づいた、観光振興を図っていくための課題を簡潔に記入して下さい。

c-4. 〔必須〕 地域観光振興計画（B）における外国人観光客来訪促進の方針

外国人観光旅客の来訪を促進する意義や、国際観光の振興に係る施策の方向性（強みを活かす戦略）等、基本的な方針を簡潔に記入して下さい。

また「地域観光振興計画」に基づき、概ね以下のような事項について記入してください。

○当該観光地のテーマ（当該地域の特性を活かした他地域との差別化の考え方）

○当該観光地のターゲット

（外国人観光旅客の発地国、国内の観光旅客や地域住民、旅行形態など）

○および観光振興の核となる観光資源、観光資源活用コンセプト（戦略）

c-5. 〔必須〕 都道府県や市区町村等の上位計画（A 他）・社会資本整備計画における地域観光振興計画（B）の位置づけ

都市計画、港湾計画などの社会資本整備関連の計画、都道府県や市区町村の総合計画など、他の上位計画・関連計画における当該地域観光振興事業計画の位置づけや関連づけについて整理します。

c-6.〔必須〕地域観光振興計画（B）における地域観光振興事業構想（C）・事業計画の位置づけ

市区町村が上位計画として作成する「地域観光振興計画」における当該地域観光振興事業構想（C）・事業計画のねらいや位置づけを整理します。

c-7.〔必須〕地域観光振興事業構想（C）・事業計画の目標と基本方針

地域観光振興事業構想（C）・事業計画のねらいや位置づけに基づいて、地域観光振興事業全体の目標を設定します。地域が直面する課題に基づき様々な目標設定が考えられますが、概ね以下のような事項について戦略的に整理していきます。

- 事業のテーマ（他地域における地域観光振興事業との差別化の考え方）
- 事業がねらいとするターゲット
（外国人観光旅客の発地国、国内の観光旅客や地域住民、旅行形態など）
- 地域の観光振興にあたって特にウィークポイントとなっている課題解決への方針
- 事業内容設定の基本的な考え方（地域観光振興計画（市区町村）の他の事業との関係・相乗効果）
- 事業実施時期の基本的な考え方（地域観光振興計画（市区町村）の他の事業実施時期との関係）

c-8.〔必須〕実施予定の個別事業（補助対象事業および関連する主たる事業）

c-7 で記載した目標と基本方針に基づいて、取り組むべき事業の項目を戦略的に整理します。それぞれの事業の概要についても簡潔に記入してください。①～⑦の行（⑧以降の行を追加してもよい）には、補助対象として応募する事業を書いて下さい。Ⅰ～Ⅴの行（Ⅵ以降の行を追加してもよい）には、補助対象として応募する事業ではないが、地域観光振興事業構想・事業計画の一環として行う事業等があれば、書いて下さい。また、Ⅰ～Ⅴの事業については、概要欄に事業費・資金の調達方法等も記入して下さい（①～⑦の事業費・資金の調達方法は c-9・10 に記入）。

個別事業の提示にあたっては、事業自体の魅力や有効性、事業の実現性などに十分な配慮が必要となります。

c-9.〔必須〕19年度事業費・希望補助金額と補助金以外の資金の調達方法と見通し

左表に、c-8 で記載した補助対象として応募する事業毎の事業費及び希望補助金額を記入して下さい。No.は c-8 の番号（①～⑦＋追加分）です。

右表は、補助金以外の資金の調達方法と見通しについてです。事業ごとの負担額ではなく、事業全体の負担額について、負担者毎に（事業主体・市等）、負担額・負担方法を記入します。

（事業費の合計）＝（希望補助金額の合計）＋（補助金以外の負担額の合計）となるようにして下さい。事業からの収入金については、c-17、c-18 に記載します。（自動計算エクセルシートが埋め込まれています。PCで入力する場合は、表内をダブルクリックするとエクセル表が開きます）

c-10.〔必須〕20年度事業費・希望補助金額と補助金以外の資金の調達方法と見通し

20年度について整理します。上記に同じです。

個別事業の内容（補助応募する事業毎に作成）

c-11～c-20については、補助応募する事業毎に作成して下さい。c-11の左上に c-8 の事業番号（①～⑦＋追加分）を記入して下さい。

c-11. 個別事業の概要

「個別事業名」「実施場所」を記入してください。「実施場所」については、開催場所（地域イベント活性化事業）、設置場所（観光案内所、観光交流施設等の整備、外国人对応観光案内標識等の整備）等が具体的にわかるように、振興地域（地域観光振興計画の区域）の中の位置づけや、主要交通機関、主要観光資源・施設との位置関係を整理し、別途図を添付するなどして示してください。「共同事業者」がいる場合には、当該欄に事業者名を記入してください。

「個別事業のタイプ」については、（１）～（９）の中から、該当する項目に○をつけてください。

c-12. 個別事業の目的

地域の観光振興上の課題解決への具体的な道筋等、当該個別事業の目的を記入します。

c-13. 個別事業の具体的内容

個別事業の具体的内容を整理します。多言語対応を図るものについては、言語も記載して下さい。

観光商品の企画開発・商品化事業については、開発の手順・検討方法やこういったものの開発・商品化を図るのか等を具体的に記入して下さい。

地域イベント活性化事業については、イベントのテーマやプログラムの概要、外国人のための具体的対応策（例えば外国語併記パンフレットやマップの作成、通訳ガイド等の配置など）等を記入して下さい。

インターネットによる多言語情報発信事業については、作成する多言語WEBコンテンツの具体的内容や特徴等を記入して下さい。

多言語人材育成事業については、設立する研修制度の具体的内容や研修会の開催予定、通訳ガイド等の配置計画等を記入して下さい。

観光案内所、観光交流施設等の整備・運用については、施設構成、機能、規模、整備手法、維持管理手法等をできるだけ具体的に記入して下さい。また、情報ツール等を作成する場合は、情報内容や規模（例えばパンフレットやマップ、ポスター等の配布枚数）、発信・配布方法等を記入して下さい。

外国人对応観光案内標識等の整備については、具体的に誘導すべき施設、標識の表示概要、標識の形態や配置数等を記入して下さい。

手づくり観光サービス起業化支援事業及び外客満足度向上事業については、事業の具体的な内容・手順等を具体的に記入して下さい。

【観光振興に資する交通関係事業について】

交通関係については、交通機関や車両・船舶の形態、運行サービス（頻度）の概要、外国人のための案内表示システムの具体的方法を記入して下さい。

※バス運行に係る「c-13. 個別事業の具体的内容」欄への記入については、上記によるほか、次の各事項についても記入して下さい。また運行ルート図も添付して下さい。

1. 運行ルート（起点～経過地～終点）
2. 既設系統又は新設系統の別
3. 運行開始予定日及び運行実施予定日
4. 予定する運行回数

c-14. 個別事業の実施スケジュール

個別事業の事業プロセスとその取り組み時期を整理します。

c-15. 個別事業に関わる関連法規とそれへの対応

個別事業に関わる各種法令等による規制や許認可事項を明らかにするとともに、それをクリアするための条件や、手続きの進捗状況と見通し、今後新たに必要となる手続きや関係機関との調整事項を整理します。

該当する事項として、例えば「自然公園内における建物新設」「道路運送法への対応」などが考えられます。

c-16. 用地や物件確保等の見通し

施設整備やイベント開催などについては、用地確保や建物・所蔵物等物件確保の見通し、配慮事項を整理します。

該当する事項として、例えば「第三者の所有する古民家の買収・移築における所有者の同意」などが考えられます。

c-17. 19年度個別事業の事業費とその内訳、収入予定金額

19年度個別事業の事業費を整理します。

書式にしたがって、当該事業達成に必要な事業費総額とその内訳を記入してください。また、事業からの収入が見込まれる場合には、その金額を書いて下さい。収入がない場合は、0円と記入して下さい。（自動計算エクセルシートが埋め込まれています。PCで入力する場合は、表内をダブルクリックするとエクセル表が開きます）

c-18. 20年度個別事業の事業費とその内訳、収入予定金額

20年度個別事業の事業費を整理します。上記に同じです。

c-19. 個別事業におけるユニバーサルデザイン実現の具体的内容

具体的事業内容において、高齢者、車いす利用者などの弱者を含め、誰もが観光を楽しめるためのユニバーサルデザインを実現するためのハード面、ソフト面の工夫や配慮事項について整理します。

c-20. 個別事業の円滑な実施、事業費の適切な運用についての配慮事項

個別事業の円滑な実施、事業費の適切な運用等について、特別に配慮すべき事項や工夫すべき要点を整理します。

D 地域における他の関係者の観光振興に向けた取り組み状況に関する事項

〔P10～11〕の記入方法

市区町村によって策定された「地域観光振興計画」に基づき、地域における観光振興に向けた取り組みにつき、以下にしたがって記入してください

d-1. 市区町村における観光客入込数等に関わる統計

当該市区町村における直近3カ年の観光客入込数、宿泊者数を、旅客数の単位（人回、人泊）、延べ数なのか、実数なのかとあわせて整理します。こうした市区町村単位の観光統計の算出方法や根拠をできるだけ具体的に記入してください。

観光統計が現在整備されていなかったり、不十分な市区町村では、今後の整備予定等を記入してください（特に外国人観光旅客の統計の整備がなされていなかったり、不十分な市区町村では、今後の整備予定を合わせてご記入下さい）。

d-2. 外国人を含む観光客のため現在実施している社会資本整備事業や景観形成事業と、今後の予定（計画）

当該市区町村が現在進めている良好な景観形成への取り組みや観光振興に配慮した社会資本整備などを記入して下さい。また「地域観光振興計画」に基づき、景観形成や社会資本整備に関わる今後の取り組み予定（計画）を示して下さい。

d-3. 外国人を含む観光客のため現在実施している交通アクセス改善事業と、今後の取り組み予定（計画）

外国人を含む観光客が、当該市区町村を円滑に来訪するための交通アクセス改善への取り組みについて、「地域観光振興計画」などに基づいて、現状および今後の予定（計画）を記入して下さい。

d-4. その他現在実施している観光振興への取り組みと今後の予定（計画）

当該市区町村が地域の観光振興に積極的に取り組んでいる、または今後取り組む予定のその他の事業について具体的に記入して下さい。

d-5. 外国人観光客のため現在実施している情報提供事業と、今後の取り組み予定（計画）

外国人観光客に当該市区町村の観光の魅力を知らせるため実施している広報事業（例えば外国語ホームページの作成など）や、来訪した外客が安心かつ快適に観光を楽しめるようにするため行っている現状の情報提供事業（例えば観光案内所における外国語対応、外国語パンフレットの配布など）について、「地域観光振興計画」などに基づいて、現状および今後の予定（計画）を記入してください。

d-6. 外国人観光客のため現在実施しているプロモーション事業と、今後の取り組み予定（計画）

国のビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業への取り組みや、外国人観光旅客の誘致を積極的にはたらきかけていくため当該市区町村独自に進めている宣伝活動、営業活動について、「地域観光振興計画」などに基づいて、現状および今後の予定（計画）を記入してください。

d-7. 外国人観光客のため現在実施しているホスピタリティ向上への取り組みと今後の予定（計画）

当該市区町村における通訳ガイドの提供、外国人観光旅客をあたたく迎えるホスピタリティ醸成への取り組みについて、「地域観光振興計画」などに基づいて、現状および今後の予定（計画）を記入してください。

E 事業の成果・効果に関する事項

【P11】の記入方法

事業実施による成果・効果につき、以下にしたがって記入してください

e-1. 【必須】事業実施によって期待される外国人観光客の入込数増加や質的な向上など成果

「地域観光振興計画（市区町村）」では、5年先及び10年先の外国人観光旅客来訪者数、宿泊者数、その満足度等様々な指標の中から、地域の実情に合わせて目標値を設定することになっています。これらを参考にしながら、当該個別事業など地域観光振興事業実施によって見込まれる外国人観光客入込数をはじめとする観光客数の増加数（増加率）等の目標指標を地域の実情にあわせて設定してください。

また観光客の滞在時間延長やリピーター化促進など、質的な向上について期待できる事項についても整理してください。

e-2. 【必須】上記事業成果の検証方法

外国人観光旅客・宿泊客数のデータ収集・統計システムの確立、顧客満足度調査の実施等、前述した「外国人観光客の入込数増加や質的な向上などの事業成果（目標指標）」の評価・検証方法を具体的に示します。

e-3. 他の地域課題解決への効果

当該個別事業など地域観光振興事業実施によって、中心市街地活性化や過疎交通の利便増進、雇用創出、地域住民の国際感覚の向上、国際交流を活かしたまちづくりなど他の地域課題の解決につながるがあれば、その効果と波及の道筋を整理します。

【下記F及びGは平成19年度からの追加項目です。】

F 事業の実施主体に関する事項（協議会）

【P12】の記入方法

協議会名で応募する場合、以下にしたがって記入してください。ATAが補助対象事業者の場合は記入不要です。

f-1.【協議会が補助対象事業者の場合記入】〔必須〕協議会の概要

協議会名、設立時期、構成員について書式にしたがって記入してください。また、協議会の要件については、該当する項目の（ ）に○をして下さい。協議会として申請する場合、イ～ホの要件を全て満たしている必要があります。

G 地方公共団体の負担する額に関する事項

地方公共団体の負担する額につき、以下にしたがって記入してください。

g-1.【ATAが補助対象事業者の場合記入】〔必須〕都道府県及び市区町村が補助金等によりATA（認定構想推進事業者）に支出する金額

都道府県及び市区町村が、ATA（認定構想推進事業者）の実施する地域観光振興事業（補助対象事業）に対して支出する金額について記載します（手引き 33 ページの②の額）。19年度分については、額を確認できる資料を添付して下さい。20年度分については、予定でも構いません。負担者の欄には都道府県名又は市区町村名を記入し、事業名等の欄には補助対象事業の名称（事業全体の名称又は個別事業名）を記入して下さい。

g-2.【協議会が補助対象事業者の場合記入】〔必須〕都道府県及び市区町村が負担金等により協議会に支出する金額

都道府県及び市区町村が、協議会として実施する観光振興事業に対して支出する金額について記載します（手引き 34 ページの②、③の額）。19年度分については、額を確認できる資料を添付して下さい。20年度分については、予定でも構いません。負担者の欄には都道府県名又は市区町村名を記入し、事業名・事業概要の欄には、どのような事業に支出するのかが分かるよう簡潔に記入して下さい。

g-3.〔必須〕地域観光振興計画に基づき、都道府県及び市区町村が実施する観光振興事業に要する経費

この項目は 19 年度限り。都道府県及び市区町村が、地域観光振興計画に基づき実施する観光振興事業に対して支出する金額（19 年度分）について記載します（手引き 33 ページの③・④の額。g-1・g-2 で記載したものは除く）。負担者の欄には都道府県名又は市区町村名を記入し、事業名・事業概要の欄には、どのような事業に支出するのかが分かるよう簡潔に記入して下さい。

H 添付資料として、所要の添付資料を付けて下さい。